

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 岡谷電機産業株式会社
 コード番号 6926 URL <http://www.okayaelec.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山岸久芳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 江本明弘
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、証券アナリスト向け

TEL 03-4544-7000
 平成24年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,693	△19.9	147	△78.9	132	△78.7	99	△79.3
24年3月期第2四半期	7,105	△1.8	698	△12.1	623	△13.4	480	49.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △155百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 239百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.45	—
24年3月期第2四半期	21.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,735	7,833	65.5
24年3月期	12,141	7,973	65.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,684百万円 24年3月期 7,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	△7.5	550	△8.9	540	△13.6	370	△7.1	16.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	22,921,562 株	24年3月期	22,921,562 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	567,003 株	24年3月期	566,847 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	22,354,643 株	24年3月期2Q	22,356,769 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 地域別売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国では緩やかながらも住宅市場の伸びや雇用の維持、個人消費の改善が見られましたが、欧州諸国は債務問題の不安が残る中、多くの国で景気の動きは低水準で推移し、中国においても個人消費の伸び率低下や輸出の減速等により成長ペースは鈍化しました。

国内においては震災による復興需要等を背景とした緩やかな回復基調ではありますが、円高の長期化や欧州・中国等の景気減速などの影響により、全般的に景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような経済環境の中、当社グループは成長市場の開拓や販売拡大に取組み、受注・売上ともに第1四半期までは前年度下期に比べては回復傾向にありましたが、第2四半期では低迷しております。

国内では特に工作機械用部品において、スマートフォン生産用機械向けは一部増加したものの、全体としては中国や欧州諸国向けの低迷の影響を大きく受け、伸びは見られませんでした。

海外においては、薄型テレビ向けの低迷は続き、エアコン用部品も期待した成果は見られませんでした。事務機器・OA機器等の分野についても中国をはじめとする新興国の個人消費の伸び率低下や欧州向けの輸出製品の大幅減少の影響を受けましたが、日系以外の電源メーカーへの深耕による需要回復などの成果が見られました。

一方、新規分野に対しては継続的に市場開拓を進め、エコ発電のパワーコンディショナー向けのノイズ・サージ部品やエレベーター・エスカレーターへのLED照明などはある程度の成果をあげております。さらに、医療機器業界への新規開拓を進め、医療機器本体のみならず精密医療機器の診断環境対策用部品や手術用照明などについても提案活動を強化しております。

また、コスト面につきましては当社の主力生産工場のある中国では受注動向に対応できる人員配置体制を構築すべく、省人化ラインの増設を行い、さらに省エネの新製品開発や原材料購入先の選別等により原価低減に努力しております。また、中国に比べて人件費の低廉なスリランカ工場では、コンデンサ部門の製造品種拡大と生産能力の増加及びコイル製品の生産強化などを進めております。

昨年4月にTPR株式会社と合弁で設立したTOCキャパシタ株式会社の事業につきましては、当初の計画のとおり電気二重層キャパシタの技術開発を進めながら、この応用製品の開発を行い、今年度下期にはサンプル品出荷も予定されております。

さらに、営業面におきまして、国内では産業機器やエネルギー関連、通信機器市場の開拓を積極的に進めております。また、海外におきましては、工作機械メーカー等工場の日本からの海外移転や生産移管にタイムリーなユーザー対応を図るとともに、昨年配置したタイのバンコク駐在員に加えてベトナム、インドネシア、マレーシアなどにも幹部営業社員を派遣し、市場調査を積極的に進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は56億93百万円（前年同期比80%）、営業利益は1億47百万円（同21%）、経常利益は1億32百万円（同21%）、四半期純利益は99百万円（同21%）となりました。

セグメント別の業績は下記のとおりです。

ノイズ関連製品

前年度は好調であった薄型テレビ向け部品は国内並びに新興国の需要低下により、大きく落ち込みを見せました。また、エアコン用部品においても国内及び中国のインバーター向けの伸びは見られず、横ばいの状況でした。さらに工作機械については一部のメーカーを除いて低迷しており、太陽光発電用パワーコンディショナー向けのノイズフィルタの売上増で一部カバーをいたしましたが、ノイズ関連製品の当連結累計期間の売上高は32億76百万円（同80%）となりました。

サージ関連製品

薄型テレビ向け部品は採用が大きく減少しました。さらに中国を中心としたインバータエアコン向けも伸びは見られず、工作機械関連も低迷しました。一方において、LED屋外照明向けは順調に推移し、また、インターホン・監視カメラなどのセキュリティー関連やデータ通信業界、パワーコンディショナー向けの拡販も進めましたが全体としては、売上高は9億63百万円（同73%）となりました。

表示関連製品

産業機器向けのLED表示器が一部生産中止等の影響で減少しましたが、省エネに効果のあるエレベーター・エスカレーター並びに医療・医科向けのLED照明を拡販しました。また、個人向け医療機器用LCD表示器などは一定の成果を上げ、売上高は11億97百万円（同88%）となりました。

センサー関連製品

産業機器向けセンサーは設備投資の減少の影響を受け、伸び悩みを見せました。一方、時計の時刻補正用センサーなどが好調に推移しましたが、全体として売上高は2億55百万円（同81%）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表した平成25年3月期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としており、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,216,887	1,237,484
受取手形及び売掛金	3,843,522	3,670,411
商品及び製品	499,838	475,085
仕掛品	278,177	275,707
原材料及び貯蔵品	619,079	654,085
繰延税金資産	82,390	92,024
その他	298,854	208,540
貸倒引当金	△11,442	△10,884
流動資産合計	6,827,308	6,602,454
固定資産		
有形固定資産	2,836,219	2,655,537
無形固定資産	326,139	272,296
投資その他の資産		
投資有価証券	862,929	877,602
長期預金	1,000,000	1,000,000
繰延税金資産	162,092	210,525
その他	135,746	121,242
貸倒引当金	△9,300	△4,600
投資その他の資産合計	2,151,469	2,204,770
固定資産合計	5,313,828	5,132,604
資産合計	12,141,136	11,735,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,013,780	922,133
短期借入金	962,102	890,062
未払法人税等	36,207	82,082
その他	818,558	835,355
流動負債合計	2,830,648	2,729,634
固定負債		
長期借入金	433,390	333,410
退職給付引当金	497,568	488,185
役員退職慰労引当金	35,053	35,053
環境対策引当金	12,728	12,728
資産除去債務	8,305	8,305
その他	349,957	294,099
固定負債合計	1,337,001	1,171,780
負債合計	4,167,650	3,901,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,295,169	2,295,169
資本剰余金	1,861,019	1,861,034
利益剰余金	4,019,612	3,984,948
自己株式	△120,231	△120,293
株主資本合計	8,055,569	8,020,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	212,137	118,194
繰延ヘッジ損益	—	1,561
土地再評価差額金	464,737	464,737
為替換算調整勘定	△780,052	△920,872
その他の包括利益累計額合計	△103,177	△336,378
少数株主持分	21,094	149,163
純資産合計	7,973,486	7,833,644
負債純資産合計	12,141,136	11,735,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30日)
売上高	7,105,151	5,693,635
売上原価	5,215,398	4,380,738
売上総利益	1,889,753	1,312,896
販売費及び一般管理費	1,191,728	1,165,514
営業利益	698,024	147,382
営業外収益		
受取利息	6,043	10,357
受取配当金	20,766	19,118
その他	4,755	11,782
営業外収益合計	31,565	41,258
営業外費用		
支払利息	14,516	10,314
為替差損	87,249	40,889
その他	4,775	4,976
営業外費用合計	106,541	56,179
経常利益	623,048	132,460
特別損失		
投資有価証券評価損	47,683	—
特別損失合計	47,683	—
税金等調整前四半期純利益	575,365	132,460
法人税等	105,673	54,927
少数株主損益調整前四半期純利益	469,692	77,533
少数株主損失 (△)	△10,746	△21,930
四半期純利益	480,438	99,464

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	469,692	77,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,129	△93,942
繰延ヘッジ損益	△30,928	1,561
為替換算調整勘定	△205,767	△140,820
その他の包括利益合計	△230,566	△233,201
四半期包括利益	239,125	△155,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,871	△133,736
少数株主に係る四半期包括利益	△10,746	△21,930

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	575,365	132,460
減価償却費	298,078	291,612
投資有価証券評価損益 (△は益)	47,683	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,761	△9,383
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,606	△4,826
受取利息及び受取配当金	△26,809	△29,475
支払利息	14,516	10,314
売上債権の増減額 (△は増加)	162,991	127,152
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△217,404	△46,210
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,853	△72,627
その他	△228,027	△16,309
小計	610,695	382,707
利息及び配当金の受取額	23,111	24,730
利息の支払額	△14,363	△10,267
法人税等の支払額	△354,106	△25,581
法人税等の還付額	—	137,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	265,336	509,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△296,141	△115,290
無形固定資産の取得による支出	△24,296	△601
投資有価証券の取得による支出	—	△154,820
定期預金の預入による支出	—	△180,000
その他	△19,508	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△339,946	△450,711
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	260,504	△72,040
長期借入金の返済による支出	△86,660	△99,980
少数株主からの払込みによる収入	50,000	150,000
リース債務の返済による支出	△50,059	△53,305
配当金の支払額	△178,639	△133,652
自己株式の取得による支出	△93	△86
その他	7	40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,940	△209,024
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,942	△8,853
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100,493	△159,403
現金及び現金同等物の期首残高	1,100,753	1,216,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,000,259	1,057,484

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ノイズ 関連製品	サージ 関連製品	表示 関連製品	センサー 関連製品			
売上高							
外部顧客への売上高	4,105,405	1,315,494	1,366,915	317,335	7,105,151	—	7,105,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,105,405	1,315,494	1,366,915	317,335	7,105,151	—	7,105,151
セグメント利益	559,680	338,403	174,453	73,051	1,145,587	△447,563	698,024

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ノイズ 関連製品	サージ 関連製品	表示 関連製品	センサー 関連製品			
売上高							
外部顧客への売上高	3,276,668	963,837	1,197,382	255,746	5,693,635	—	5,693,635
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,276,668	963,837	1,197,382	255,746	5,693,635	—	5,693,635
セグメント利益	266,086	195,891	87,399	26,107	575,484	△428,101	147,382

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:千円)

日本	香港	中国	その他アジア	北米	その他(注)2	計
3,734,228	1,143,138	512,138	1,109,238	468,585	137,822	7,105,151
52.6%	16.1%	7.2%	15.6%	6.6%	1.9%	100.0%

(注)1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

2. 「その他」の区分は、主に欧州である。

3. 比率は構成比である。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:千円)

日本	香港	中国	その他アジア	北米	その他(注)2	計
3,022,093	969,684	368,390	776,235	547,529	9,701	5,693,635
53.1%	17.0%	6.5%	13.6%	9.6%	0.2%	100.0%

(注)1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

2. 「その他」の区分は、主に欧州である。

3. 比率は構成比である。